

植物の手ざわりランキング

- 時期 いつでも（春が一番良い）
- 時間 1時間
- 場所 校庭
目が届く範囲で、植物の種類がたくさんある
場所が理想的（ビオトープなど）
- 対象 小学生 10人程度
- 指導者 1人
- 天候 雨天中止（葉が濡れると手ざわりが違ってくる）
事前に葉だけ取っておいて、お話と投票だけ行ってもよい。



1 ねらい

葉の手ざわりの違いを体験し、その理由を考える。植物に触れることで、植物に愛着を持つ。

2 事前準備

- 下見 かぶれる植物や危険な虫（チャドクガ、イラガ、ハチなど）はないか、確認しておく。いるようなら目印のテープを張っておく。
- 道具 模造紙3枚以上、シール、マジック、ファイルケース

3 プログラムの展開

時 間	活動	備 考
導入 (10分)	樹木にとって葉が一番大切だということを話す。「半年で葉を落とす木もあれば、1枚を7年使う木もある。」「取った葉を大切に観察しようね。」と声掛けする。	「葉を採ったらかわいそう。」という意見が出ることもある。「木も虫や病気で多少葉がなくなることは予想していて、そう簡単に枯れることはない。」「葉を数枚採るのは大丈夫。」と説明する。
(5分)	【活動の説明】 「つるつる、ふわふわ、ざらざらの手触りの葉っぱ（葉以外でも可）を探してきて下さい。その中から各ナンバー1を投票してもらいます。」	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶれる植物などがあれば、事前に印をつけておき、触らないように注意をする。 ・トゲがある植物も注意するように言う。 ・目の届くエリアだと良いが、校内など広い範囲であれば、グループでファイルケース等に入れてもらう。 ・虫など、おどかしすぎて触るのを怖がらないように気を付ける。
体験 (20分)	各自葉っぱを探す 「ふわふわ」「つるつる」「ざらざら」コーナーを作って、模造紙の上に葉を置いてもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・集合場所を決めておく。 ・「ふわふわ」「つるつる」「ざらざら」コーナーを作って、葉を種類分けして、名前をマジックでかき、シールが貼れるようなスペースを取り、マジックで囲む。 ・子どもは小さい葉も持ってくるので、同定が難しいこともある。「ちっちゃい葉」など仮の名前をつけておく。
投票(15分)	それぞれ「ふわふわ」「つるつる」「ざらざら」	・葉の裏表をよく触って、一番だと思う葉に投票する

	のナンバーワンを1人1票シールで投票する。	ように助言する。
まとめ (10分)	<p>【投票結果発表】</p> <p>一位になった葉はどんな木か解説する。</p> <p>なぜつるつるなのか、なぜ違いがあるのか解説する。</p> <p>季節によって手触りは変わるので、今後も観察してみようとまとめる。</p>	<p>「つるつる」の葉は、常緑広葉樹が多いと思われるが、雨が多い地域では、早く水を落とさないと重くなって枝が折れてしまう等の理由からだと思われる。「ふわふわ」「ざらざら」は、虫の食害を防ぐためが多いと思うが、ふわふわの冬芽は防寒、タンポポやチガヤの綿毛は種を風で飛ばすためだと思われる。</p>

4 展開

○違う手触りも探してみる。例えば「さらさら」「ねばねば」「冷たい」など

○それぞれの1位を取った木を見に行く。「つるつる No.1」など看板をつけて、他の人にも触ってもらえるようにしてもよい。

○季節の変化でその葉の手触りがどう変化するか触ってみよう。

5 小学校の教科書との関連

○1学年 生活科

○身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気づき、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

○3学年 理科

○身近な自然の観察

身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。



【気を付ける植物など】



サンショウやユズ、バラなどは棘があるので気を付ける。



ハゼノキなどウルシの仲間は、かぶれることがあるので、触らないようにする。特に葉の汁がつかないように気を付ける。



スイセン、スズラン、ウメの葉、アジサイの葉は毒がある。触るのは良いが、食べては駄目。



毛虫（チャドクガとイラガ）・ハチの巣を触らないように葉裏を確認する。チャドクガはお茶の葉っぱなどのツバキ類にいる。（それ以外にはほぼいない。）

【葉っぱの例】

「つるつる」



アオキ



モッコク



レッドロビン

「ふわふわ」



シロダモの新葉

「サラサラ」

トウネズミモチの葉



ネコヤナギの花芽



ラムズイヤーの葉



クズの新葉

「ざらざら」



ムクノキの葉



ベニバナトキワマンサクの葉裏



ヒマワリの葉

森林インストラクター 岩谷美苗